

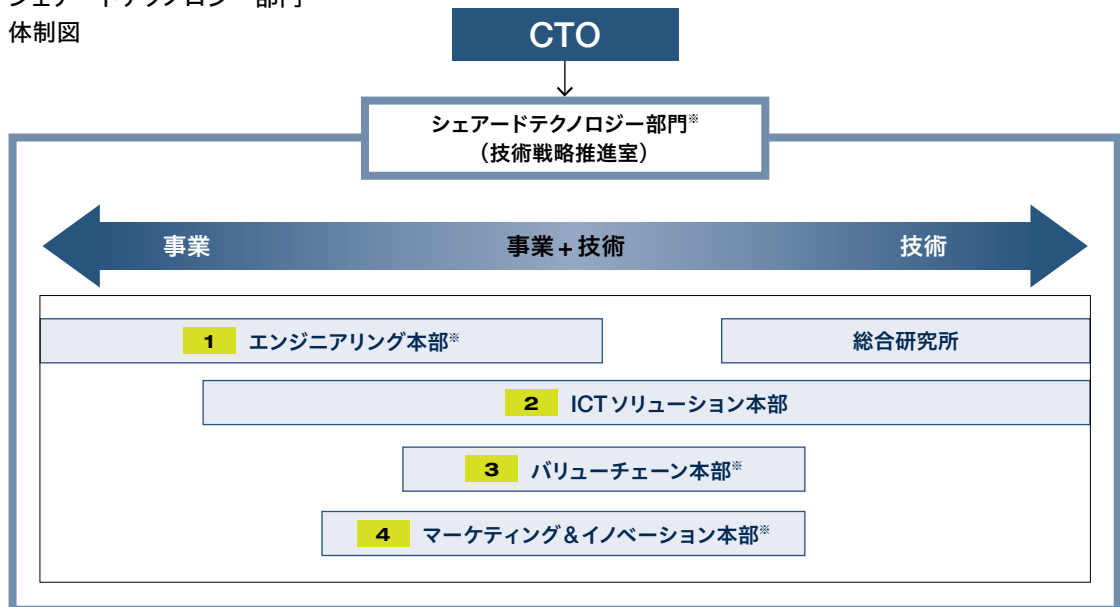
技術基盤

全社横断組織の構築による総合力の発揮

当社は2016年4月に、全社の技術とマーケティング、調達などの機能を横断的に融合させた「シェアードテクノロジー部門」をCTO (Chief Technology Officer) の統括下に発足させ、CTOの権限と責任範囲を拡充しました。この部門は、新設の「エンジニアリング本部」「マーケティング&イノベーション本部」「バリューチェーン本部」と、既存の「ICTソリューション本部」「総合研究所」から構成されます。また、

これに合わせて、同部門を取りまとめて一体運営を推進するとともに、三菱重工グループの求心力となってコングロマリットプレミアム(多様な事業を抱えていることの強み)を実現するための技術経営を行う、技術戦略推進室を新設しました。これら体制の構築によりCTOのもと、当社の技術的総合力をグループ全体で最大限に活用し、中長期的な競争力強化を図っていきます。

シェアードテクノロジー部門
体制図



※ 2016年4月新設

1 エンジニアリング本部

化学プラント、交通システム、客船などの多岐にわたる事業領域で、保有するEPC*遂行に係るノウハウの集約、業務プロセスの標準化・IT化を推進し、エンジニアリング力の活用分野の拡大、全社へのノウハウの供給・支援に取り組んでいます。 ※ EPC: 設計・調達・建設

3 バリューチェーン本部

設計・製造・品質保証・調達・アフターサービスまで含んだバリューチェーン全体にわたり、技術の高付加価値化、グローバル競争力強化、SCM*変革・強化を推進しています。

※ SCM: サプライ・チェーン・マネジメント

2 ICTソリューション本部

ITインフラの戦略立案・整備・運用に加え、情報処理、通信、電気・計装・制御など幅広い人材・技術リソースを活用して、IoT/AI関連システム等の先進事例の開発・整備や、社内外ベストプラクティスを取り入れた業務プロセスの高度化、製品・技術・事業の強化を推進しています。

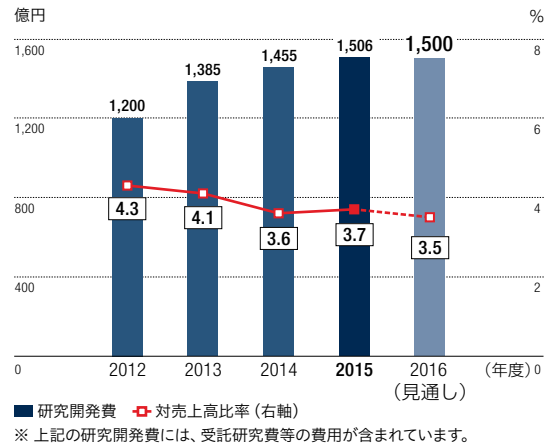
4 マーケティング&イノベーション本部

ビジネスモデルや事業・技術戦略、製品サービス企画などの仮説を創出するとともに、顧客との製品横断的・中長期的な関係を構築し、ニーズ把握や創出した仮説の検証に取り組んでいます。

研究開発

当社グループは、シェアードテクノロジー部門とドメインが密接な連携を取りながら、各製品の競争力強化や今後の事業拡大につながる研究開発を強力に推進しています。事業所を中心とした体制からドメイン制への移行に連動し、2015年には、研究開発体制も組織横断的運営に改めるべく、国内5カ所の研究所を統合して「総合研究所」を新設し、技術のシナジーや人材育成のさらなる強化と、業務や設備運用の効率化を図っています。また、体制のグローバル化を進めており、国内の研究所に加えて、英国、シンガポール、米国、中国に拠点を設けて専任技術者を派遣し、世界最先端の技術・情報・人材の獲得を図るとともに、市場に近い場所でニーズを捉えた開発や技術支援を行っています。

研究開発費の推移

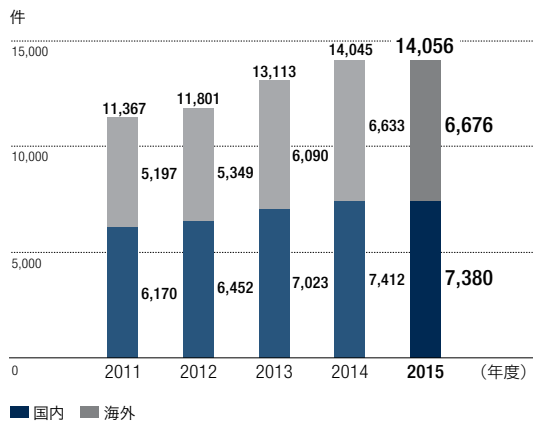


知的財産

当社グループは、シェアードテクノロジー部門とドメインが密接な連携を取りながら、事業戦略および研究開発戦略と一体となった知的財産戦略を展開しています。各ドメインの知的財産戦略を知的財産部が統括することで、当社グループ全体としての知的財産戦略の実現、企業価値のさらなる向上を図

ています。特に、知的財産の活用を知的財産活動の主目的と位置付け、事業ポートフォリオに合わせた戦略的な知的財産活用に取り組んでいます。また、事業のグローバル化に対応して海外出願を強化し、事業収益の重点地域における知的財産権の集中的な保有を推進しています。

国内・海外特許保有件数の推移



特許保有件数の地域別変化

